

LPガス用 高性能高圧ホース 取扱説明書

高圧ホースをお買い上げ頂きありがとうございます。

この取扱説明書は主としてLPガス販売事業者・LPガス工事施工者の方を対象に作成してあります。

お客様に安全・快適にLPガスをご使用していただくため、液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律(以下、液石法と呼びます)、同法施行規則、告示並びに例示基準、LPガス設備設置基準及び取扱要領等の基準を遵守するほか、この取扱説明書を良く読んでLPガス設備の安全を図って下さい。

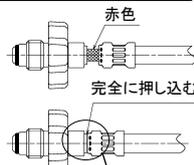
なお、この説明書で ⚠ は警告、⊘ は禁止を表わしたものです。

1 製品説明

集合用高圧ホース	LPガス容器バルブと圧力調整器、又は集合装置の根元バルブ等に接続して使用する高圧ホースです。
集合用 (ガス放出防止型)	ガス放出防止型は容器の転倒などによりホースに所定の張力が加わるとガスを止める機能を付加した高圧ホースです。 ⊘ 液用としては使用しないで下さい。
連結用高圧ホース	LPガス容器2本の容器バルブと主に単段式調整器に接続して使用する圧力調整器取付金具が組み付けられた高圧ホースです。液封防止型チェック弁が内蔵されていますので、LPガス容器交換時にLPガスの供給を中断しない設備として液石法施行規則の例示基準第7節に適合しています。 ⊘ 液用としては使用しないで下さい。
連結用 (ガス放出防止型)	連結用高圧ホースに集合用ガス放出防止型と同様の機能を付加した高圧ホースです。 ⊘ 液用としては使用しないで下さい。

2 ガス放出防止型高圧ホースの作動時の復帰方法

- ⚠ 赤い表示が見える場合はガス放出防止弁が作動しています。
- ⚠ 復帰は、下流側の安全を確認した後、容器バルブから一旦取外して、ニッブルキャップと締付パイプの隙間がなくなるまで手で完全に押し込んで下さい。
- ⊘ この時、容器バルブ取付け側先端部を叩いたりしないで下さい。漏れがないこと
- ⚠ 容器バルブに締め込み後、ガス漏れがないことを検知液等を用いて確認して下さい。



3 安全のために

- ⚠ この製品は工場で精密に組付けたものです。分解・改造するとガス漏れ事故等の発生原因となりますので絶対しないで下さい。
- ⚠ 製品の損傷を防止するため、引張りや衝撃を与えないよう丁寧に取り扱いして下さい。損傷すると機能が損なわれる恐れがあります。
- ⚠ この取扱説明書の対象製品はLPガス用の高圧ホースです。LPガス以外に使用すると機能が損なわれる恐れがあります。他の用途には使用しないで下さい。
- ⚠ ガス漏れ事故等の発生防止のため、ホースを勝手に着脱しないよう、その旨の注意事項を消費者に周知・徹底して下さい。
- ⚠ LPガス容器の増設用として、連結用高圧ホースは使用しないで下さい。なお、容器を増設する場合には必ず高圧集合管と集合用高圧ホースで増設して下さい。
- ⚠ 連結用(片側)高圧ホースを用いて高さの異なるLPガス容器(通称:親子容器)を接続する場合、圧力調整器取付金具を高い方のLPガス容器に取り付けて下さい。



⚠ この製品は、(一財)日本エルピーガス機器検査協会の検査に合格した製品です。マークを確認して下さい。

⚠ 製品には「保証書」を同梱してありますので確認し、保管して下さい。



高性能品
合格マーク

種類	形状	型式	全長 (mm)	接続 ねじ	使用 ガス	使用 範囲	使用 圧力
集合用		SK-5	650	R1/4 × POLおねじ	LP ガス	-25 S S 40 (°C)	0 S S 1.56 (MPa)
		SK-6	1050				
集合用 (ガス放出防止型)※1		BS-5	650				
		BS-6	1050				
連結用 (両側)		EH-3S	800	POLめねじ × POLおねじ			
		EH-3S 600×600	1200				
連結用 (片側)		EH-1S	550				
		EH-2S	750				
連結用 (両側)		EH-3H	800				
		EH-3H 600×600	1200				



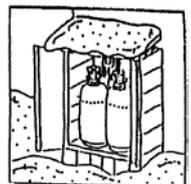
※1 ガス放出防止型高圧ホースは圧力1MPaの時、20~150Nの張力が加わるとガス放出防止弁が作動します。

⚠ 圧力調整器取付金具・POLおねじ・R1/4ねじ及びカシメ部に著しい錆や変形、ホースに亀裂・ひび割れ・切傷・磨耗等異常が発見された場合にはガス漏れやホースの抜けなど事故につながる恐れがあります。直ちに交換して下さい。

⚠ 高圧ホースを保管される場合は劣化防止のため、長期間の在庫にならないようご注意下さい。保管は直射日光の当たる場所や高温多湿の場所は避けて下さい。

4 設置工事

- ⚠ ホースの設置・取付工事は、LPガス設備士自らが施工して下さい。
- ⚠ 容器バルブと高圧ホースの接続は、LPガス販売事業者用保安教育指針(KHK)に基づき適度な締め付けをおこなって下さい。手締めタイプの場合、締め付けが不足すると接続部の気密性が低下する恐れがあります。締め付け後2回程増し締めをおこなって下さい。
- ⚠ 容器取付けの際、ホースを引張って容器に取り付けたりして「引張応力」を与えないような長さのものを選んで下さい。
- ⚠ ホースが長すぎて、容器の回りに巻き付いた状態で使用しないような長さを選んで下さい。
- ⚠ ホースを雪害・落雷の恐れのある場所に設置する場合は、収納庫等で適切に防護して下さい。
- ⚠ 気密性を保つため、ねじ部や継手金具部等に衝撃を与えないよう取り扱いして下さい。
- ⚠ ホースは、LPガス容器と同様に火気に対し2m以上離して設置して下さい。
- ⚠ ホースを集合管や調整器具と接続する際には、ガス漏れ等の発生を防ぐためねじ部の切粉、切削油、ゴミ等の異物を完全に除去して下さい。



収納庫で防護する



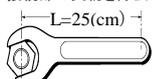
火気からはなす(2m超)

△ ホースを集合管や調整器具と接続する際には、R1/4ねじ先端部2山残し、耐LPガス性シールテープを巻いて締付けて下さい。シールテープとシール剤を併用しないで下さい。



接続部の異物を除去する

△ 継手金具の六角部にスパナを掛け、適切な力でねじ込んで下さい。締付トルクは25cmのスパナを用いて20N・m程度の力でねじ込んで下さい。



スパナを使用する

○ 配管用パイプレンチをスパナ代わりにしてホースを締め付けしないで下さい。



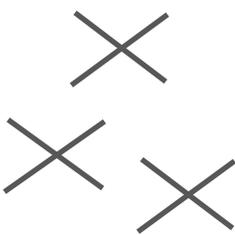
パイプレンチで締め付けない

○ カシメ金具直近でホースに無理な曲がりを与えないよう注意して下さい。

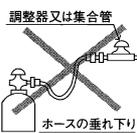
○ ホースに“引張応力”を与えないよう注意して下さい。

△ ホースの設置工事を終了したときには、必ず液石法で定められたガス配管の気密試験を実施し、安全を確認して下さい。

△ 気密試験圧力1.56MPaを超えて試験を行うと、ガス放出防止型高圧ホースが作動することがあります。気密試験後は、ガス放出防止型高圧ホースが作動していないことを確認して下さい。



△ 高圧ホースは、再液化ガス及びドレン等が溜まるのを防ぐため、垂れ下がりをつけないよう適切な長さのものを選定し、LPガス容器から上り勾配になるように取り付けて下さい。

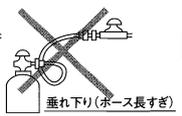


調整器又は集合管

ホースの垂れ下り

△ 必ず、壁から離れてホースを設置して下さい。(壁に触れると壁が変色する恐れがあります)

△ 高圧ホースの選定は使用する目的、場所及びLPガス容器の高さ等に適合するものを選んで下さい。



垂れ下り(ホース長すぎ)

△ 高圧ホースは、アンモニア、亜硫酸ガス等の有害なガスの影響を受ける恐れのある場所には設置しないで下さい。

△ 道路際等に高圧ホース・圧力調整器・LPガス容器等を設置する場合には、いたずら、衝撃等に対する保護処置をして下さい。

△ 高圧ホースは火気に近い場所、炎や放射熱を受ける場所、直射日光等により40℃を超える場所等には設置しないで下さい。

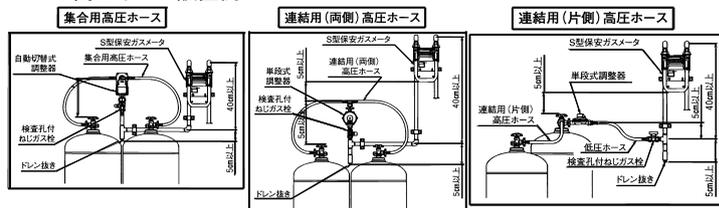
△ 液封防止対策として容器間に温度差が生じないように設置して下さい。

△ 高圧ホースは、必ずLPガス容器と接続して下さい。

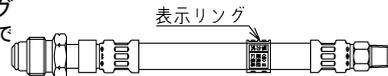
△ 連結用高圧ホースの圧力調整器取付金具には、単段式調整器又は二段一体型調整器以外のものは取り付けしないで下さい。

△ LPガス容器のバルブ接続部からガス漏れ防止のため、高圧ホースのOリングを傷つけないよう注意して下さい。

高圧ホース設置例



△ ガス放出防止型高圧ホースに取り付けられた表示リングに衝撃を与えたり、容器等で挟まないで下さい。



表示リング

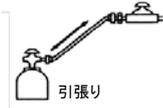
5 ガス放出防止型高圧ホースを確実に作動させるための使用方法

ガス放出防止型高圧ホースの防止機構を確実に作動させるため、以下のような点に注意して下さい。

- ホースが容器の回りに巻き付いた状態で使用しないで下さい。
- ベーパーライザー用容器の気相側に使用の場合は、液相側の高圧ホースより長くしないで下さい。放出防止機構が作動しないことがあります。
- △ 単段調整器に連結用のガス放出防止型ホースを使用の場合は、単段調整器の出口側を必ず固定して下さい。

6 ガス放出防止型高圧ホース容器交換の際の注意

○ 容器交換時に引張って作動させないで下さい。ガス放出防止器は高圧ホースに張力が加わったときに作動するもので、その他のときに作動させるとトラブルの原因になります。

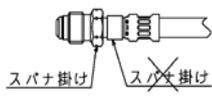


引張り

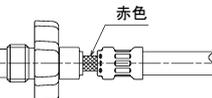
○ 防止器を誤作動させないために、ホースを容器に取り付けたまま容器の位置や向きを変えないで下さい。

○ ホースを引張って容器に取り付けたりして“引張応力”を与えないように取付けて下さい。

△ スパナ締めタイプを容器に接続する時にはPOLナット以外の所でスパナ掛けて回さないで下さい。ガス放出防止機構部が壊れる恐れがあります。



スパナ掛け



赤色

新しい容器と交換した時は、容器バルブを開いた後、図のようにニップルキャップと締付パイプの隙間が広がっていないこと(赤い表示が見えていないこと)を確認して下さい。赤い表示が見えていたら、

2 ガス放出防止型高圧ホースの作動時の復帰方法

に従って復帰して下さい。

△ ガス放出防止型高圧ホースに取り付けられた表示リングに衝撃を与えたり、容器等で挟まないで下さい。

△ ホースやOリングに亀裂・ひび割れ・切傷・摩耗等異常が発見された場合は、ガス漏れ事故につながる恐れがあります。直ちに弊社製の新品と交換して下さい。



傷があるホースは使わない

△ ねじ部・継手金具部・カシメ部に割れや変形・著しい錆等が発生しているものは、ガス漏れやホースの抜けなど危険が予想されます。直ちに新品と交換して下さい。



継手金具が錆や変形したものは危険

△ ホースを保管する場合は、ホースの劣化を防止するため直射日光を避け温度の低い場所を選定し、極端に曲げないようにして下さい。

△ 製品の保管は1年を経過しないよう在庫管理に努めて下さい。

△ 連結用高圧ホースの片側に容器を接続せずにフリーにした状態でLPガスを使用しないで下さい。必ず両側にLPガス容器を接続して使用下さい。

△ 容器交換時、接続部に砂や異物が付いている場合は布などでふき取ってから接続して下さい。

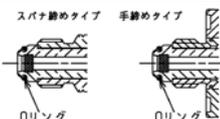
△ ホースは製造後10年経過したものは性能低下が予想されますので新品と交換して下さい。



高性能品(I類)
10年用

7 維持管理

△ ホースの“カシメ部”や“ホース本体”等にガス漏れが発見された場合は、ガスの使用を中止し、直ちに新品と交換して下さい。



スパナ締めタイプ

手締めタイプ

Oリング

Oリング

△ 容器バルブとの接続部からガス漏れを防止するため、Oリングを傷つけないよう注意して下さい。

傷やひび割れがあるときは交換

株式会社 桂精機製作所

〒221-0052 神奈川県横浜市神奈川区栄町1-1
TEL(045)461-2334(代)